

令和7年度  
介護労働講習（実務者研修を含む）

実施期間 6月17日～11月25日



～私たちは介護のプロを応援します～

（公財）介護労働安定センター  
高知支部



掲載している写真・氏名等の個人情報につきましては、予めご本人の承諾を得て掲載しています。

## 修了おめでとうございます



## 修了者へ贈る言葉

半年間にわたる「介護労働講習」の全課程修了、誠におめでとうございます。新たな志を持って学び抜いた皆様の努力に、深く敬意を表します。

これから現場へ向かう皆様に、プロとして大切にしていいただきたいことが二つあります。

一つは、「対価に見合う本質的なサービス」の追求です。介護は専門技術を提供するプロの仕事です。その価値に見合う確かな知識と技術を磨き続け、利用者の生活を支える本質的なケアを追求してください。

そしてもう一つは、「感情が喜ぶサービス」の提供です。正しさだけでなく、皆様の笑顔や優しさが、利用者の心に喜びを灯します。

「確かな技術」で信頼を築き、「温かな心」で幸せを届ける。この両方を満たす介護職のプロフェッショナルとして、高知の介護の現場で輝かれることを期待しています。

この6か月間の努力のプロセスは、自信と誇りに繋がっていることと思います。一緒に学んだ仲間との連携も大切にしてください。

皆様のこれからのご活躍を、支部一同全力で応援しております。

高知支部職員一同

# 講習風景

## 開校式



## 施設見学



## レクリエーション



# 講習風景

## 就職支援



## 救急蘇生法



## 生活支援技術



## 修了式



# 講習を終えて

今年は39名が講習を修了し、それぞれの道へ進んでいきました。  
修了者の感想をご紹介します。

いきなり介護労働講習から挑戦して良いのか悩みましたが、現場経験のある講師の経験談を聞き、授業を通して「まずは一度介護の仕事をやってみよう」という気持ちになりました。

まだまだ未熟なことばかりですが、利用者さんに視線を合わせて話すことを意識して働いてます。

(30女性)

未経験からの受講で不安でしたが、現場で活躍されている講師の方々が介護業界で働き甲斐をどう感じてきたか、成功体験や失敗談などを交えながら話してくれました。この現場の生の声が、自分がどういう働き方をしていけばよいのか方向を示してくれました。

これから、まだまだ経験を積まなければなりません頑張りたいと思います。

(40代男性)

定年退職を迎え、仕事が一段落しゆっくりしようと思っていたところ、ハローワークで研修の案内があり軽い気持ちで応募しました。実際に研修に入ると、座学や演習についていくのが大変でしたが、受講者の皆さんが前向きで、若い方に遅れないように取り組めるよう勇気をくれました。人生の第二步目で、肩の力を抜いて60代の未経験でも指導してくれる職場にも出会え良かったと思っています。

(60代男性)

講習を受けて、社会人としての新しい自分を見つけられました。受講した仲間に悩みを相談したり聴いてもらったりと、今後の心強い繋がりもできました。また、就職してからは、利用者さんの状態を理解しやすい介護記録の書き方等、学んだ知識や技術が介護現場で早速役に立っています。

受講して本当に良かったです。

(20代男性)

他業種を退職後、介護労働講習を受講しました。介護の仕事はやりがいのある仕事です。自分が健康でいる限り長く働くことができます。

講習期間の6ヶ月は長く、医療的ケアや実習など大変なこともありますが、講習を共にする仲間たちと協力し合って無事に修了することができました。

有意義な講習でした。

(50代女性)

介護は、排泄や入浴のイメージが強かったですが、講習を受けてみて沢山勉強になることがありました。介護の世界を詳しく知れたうえに、人生という大きな点でもとても大きな学びがあり嬉しく思っています。

勉強は大変でしたが、自分のためになると思い頑張れました。

これからは、人のために活かせるようにしたいと思います。

半年間ありがとうございました。

(50代女性)



# 就職先を訪ねて

令和7年度修了者 田村 嘉章さん

## 介護労働講習で学んだことや感想は？

介護保険の成り立ちから制度を利用するための手順は、いつか家族や親戚など自分の身近に迫ってくる問題だと思うので勉強することができて良かったと思います。

また、高齢者や障害者を取り巻く環境や社会の変化などは、この講習を受けるまで自分自身の認識は古いままだと実感しました。特に、認知症の方に対するコミュニケーションの取り方は、この講習を受けるまで知りませんでした。実際に現場でも認知症の方と接するなかで役に立っていると実感しています。そして、障害者の方を取り巻く環境はまだまだですが、目を凝らすと少しずつ変わってきていると環境の変化にも気付けるようになりました。

世界的に共通しているICF（国際生活機能分類）の考え方、ノーマライゼーションやパーソン・センタード・ケアの考え方は健常者から見れば日常での当たり前のことと捉えやすいですが、講義を通じて改めて深く考えさせれ感銘を受けました。

## 実際に介護の仕事に就かれた感想は？

私は定期巡回訪問介護員として働いているので、利用者さんをはじめ利用者さん家族のやり方、ルールに沿ってサービスを行う事に気をつけています。それぞれの家庭にはそれぞれのやり方、ルールがあるので自分勝手なサービスを優先させてすることではないと自分の中で決めて働いています。まずは利用者さんにサービスを提供することが仕事ですが、利用者さんを支え続けている家族のケアも大切だと思って働いています。

自分自身の持つ理想は自分に関わる利用者さん、そのご家族さんの生活に一つでも多くの笑顔が増えるように頑張っています。

## これから受講される方へメッセージをお願いします

講義自体も、とても勉強になることが多くあるのはもちろんですが、この講習を受けられる方々の根底には人にやさしく接することができる人だと私は思いますので、その素質に磨きをかけるつもりで頑張ってください。

科目ごとに筆記や実技の試験がありますが、やらなければいけないことに取り組んでいれば講師の方のサポートもあるので安心して大丈夫です。

また、この講習は様々な年代の方々が共に学ぶので、お互いが良い刺激となり良き仲間と出会える場でもあるので楽しく学んでください。

## 事業主さまから一言

一般社団法人カインドネス 代表理事 山下 香苗 様

## 普段の仕事ぶりはいかがですか？

前職で鍼灸師の業務に携わっていた経験を活かし、利用者さんの身体状態やわずかな変化にも的確に気づきながら、丁寧なケアを実践しています。利用者さんの身体の状態だけでなく、その時の気持ちや不安にも目を向けながら関わろうとする姿勢があり、日々のケアに誠実に取り組んでいます。現在は、東京という慣れない環境の中で、寒さの厳しい時期にも自転車での長距離の訪問に取り組みながら、日々真摯に業務を続けています。その姿勢は、強い責任感と仕事への誠実さの表れであり、利用者さんやご家族、職員からの信頼にもつながっています。今後は、介護職としての技術を磨きつつ、鍼灸師の専門性を活かして、より一層活躍してくれることを期待しています。

## これから受講される方へメッセージをお願いします

介護職は、これからの社会においてますます必要とされる、在宅生活を支えるために欠かせない大切な仕事です。住み慣れた地域や自宅でその人らしい生活を続けるためには、介護職の存在が不可欠です。講習では、介護の知識や技術だけでなく、人と向き合う姿勢や考え方も学ぶことができ、自分自身のスキルアップにもつながります。

大変なこともあります。その分やりがいも大きく、人の役に立っていることを実感できる仕事です。ぜひ前向きに挑戦していただきたいと思います。